

当面の日程

- 5日 県本部公企評総会・公企集会（ひょうご共済会館）
 6日 県本部公共民間協総会（フルーツフラワーパーク）
 9～10日 全国女子バレーボール大会（三重県津市）
 10日 県本部労働学校実践編（ひょうご共済会館）
 13日 県本部臨職評総会（ひょうご共済会館）

自治ひょうご



全日本自治団体労働組合 兵庫県本部

〒650-0004 神戸市中央区中山手通3-4-8 大東ビル TEL078-392-0820 FAX 078-392-0920
 http://www.jichiro-hyogo.jp/ E-mail:jhyogo@jichiro-hyogo.jp

1680号

2025. 9. 1

月2回(1日、15日)発行 定価10円

購読料は組合費に含まれる。

自治労兵庫県本部

書記長／尾西亮太郎・編集人／秦 信昭

シリーズ 尾西が斬る! Vol.③

一刀亮談

いっとうりょうだん

3 「人勧準拠」だけでは埋まらぬ格差

8月7日に人事院勧告報告が公表されました。今年の勧告は、基本給(平均3・62%)、一時金(0・5月)の引き上げ、多くの組合員から強い要望のあった通勤手当においても、交通用具使用の各距離区分での引き上げ、駐車場の利用に係る手当の新設などの内容でした。

人勧は、憲法に保障された労働基本権制約の代償措置として、国家公務員(以下、国公)の俸給を民間企業(100人以上)と比較し、均衡を保つため人事院が国会と内閣に行う勧告です。あくまで国公の俸給が対象であることを押さえておく必要があります。

一方、国公と地方公務員の給料はラスパイレース指数で比較されます。人勧・国公に準拠するのであれば、地方公務員のラス指数は国公と同じ水準の100でなければなりません。しかし、

兵庫県内自治体のラス指数の平均は99程度、町に限ると97、最低は94弱となっています。さらに、地域手当の違いや地方には無い手当が国公には支給されているので格差はさらに広がります。また、地域手当の支給率や賃金の運用の違いがあり、自治体ごとでも格差があります。

人勧準拠だけでは国公や自治体間の格差が解消できません。現在、大きな問題となっており、人材確保が難しくなっている自治体は、人手不足を解消するために、人勧を上回る改善を進めていく必要があります。

駐車場の利用に係る通勤手当の新設については、上限が5千円となっていますが、そもそも公共交通が整っていない地域や家庭の事情による車の使用については、人材確保の観点から当局の責任で負担すべきものです。人勧で出された上限額にこだわることなく、

必要額を要求していかねばなりません。初任給や昇格基準の運用改善、各種手当額など、人勧を上回る賃金改善の取り組みは、当局との粘り強い継続した協議が必要です。労働組合の取り組みは、組合員の生活を支えるとともに、人材確保の課題解決につながり、自治体を変えていける力があるという自覚を持ち、取り組みを進めていきたいと思います。



現場の実態を訴える交渉団

公共民間協は8月8日、「委託業務等における労務費の適正な価格転嫁」について、県市町振興課と交渉を行った。

大野敏隆議長は、前日出された人事院勧告に触れ「委託費が上がらないと賃金に反映されない」「指針」を周知する段階から1歩前に進めていただきたい」と具体的措置を求めた。

国が提唱する骨太方針や「新しい資本主義」の実行計画でも賃上げが言及されており、県は「行政としても方向性は同じ」としながらも「入札は市町が適切に行うもので、県が具体的な協定の協議が現場段階でどの程度実施されているのか」との質問があり、組合は「行政が財政難の時は有無を言わず委託費を下げる一方、賃上げの流れがあっても据え置きにしている」委託費が確保されても「残っ

たり返せ」と言われるなど、賃上げにつながらない実態を挙げた。

組合は、県の政労使会議での価格転嫁推進メッセーじや、知事の企業アジェンダ実施答弁を挙げ、振興課の姿勢を矛盾と追及した。これに対し県は「労働局と認識を共有したい」とし、持ち帰ることになった。

また、県から「価格転嫁の協議が現場段階でどの程度実施されているのか」との質問があり、組合は「行政が財政難の時は有無を言わず委託費を下げる一方、賃上げの流れがあっても据え置きにしている」委託費が確保されても「残っ

今年も開催します

黒豆収穫祭

日時 10月18日(土)

場所 丹波篠山市内

申し込みは組合書記局へ
詳しくは右記をお読みください

近畿地連スポーツ大会

バレー 宍粟が準優勝し全国大会へ

野球 神戸交通は初戦で惜敗



準優勝の宍粟

され、4対5で惜敗。1回戦敗退となった。

女子バレーボールは、宍粟市職労がコートを広く使った攻撃で1・2回戦をストレートで勝利。決勝戦では過去18回の優勝を誇る大阪・豊中市職と対戦し、善戦したものの準優勝となった。優勝チームおよび宍粟市職労は9月4・5・6日に三重県で開催される全国大会へ出場する。



惜敗となった神戸交通

8月4日、奈良県内で近畿地連スポーツ大会が開催され、兵庫県本部を代表し野球の部に神戸交通労組、女子バレーボールの部に宍粟市職労が出場した。

野球1回戦、神戸交通労組は前年度優勝の和歌山那智勝浦町職と対戦となり、序盤に1対3でリードされるも途中4対3で逆転に成功。満塁のチャンスもあったが、最終的には再度逆転

しこう

栃木県宇都宮市の自治労第99回定期大会に参加した。暑い栃木での熱い議論の中、身を置きながら、全国各地で踏ん張る単組・県本部の「熱」を少しでも兵庫に持って帰ろうと思った▼宇都宮市といえば「餃子のまち」だ。駅を出ると漂う餃子の香りに食欲がくすぐられる。今回は定期大会参加で時間が取れないので、いろいろな店を回っての食べ比べは、いつになるかわからない次回の訪問の楽しみに取っておく▼「餃子のまち」の始まりは、中国へ出兵した兵士が、彼の地で味わった餃子を持ち帰ったことにあると聞いた。今、私たちが楽しんでいる餃子の背景にも、痛ましい戦争の記憶があった▼今年は戦後80年。私の祖父も同じく中国に出兵したが、帰ることはなかった。餃子という食べ物ひとつから、戦争で暮らした奪われた人々、平和の大切さに想いが広がる。次の世代に伝えていこう。

いまいち座

トランプ



iNaki



たつの市自治団体労働組合連合会

(詳細は後日、ホームページに掲載します)

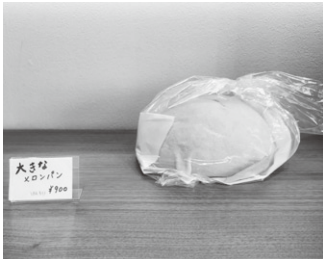


山本委員長と木村書記次長

今回は西播磨に位置する、たつの市労連です。山本真治委員長と木村憲介書記次長に、単組の取り組みや地域の魅力について伺いました。



紅葉谷の様子



巨大なメロンパン

【新たな取り組み】
コロナ禍で新春旗開きが開催できなくなり、組合員のために、新しく始めたのが個人助成制度です。この制度は、組合員が家族など
と食事や旅行をする際に、その費用の一部を助成するもの。旗開きに替わる新制度も組合員から好評です。
【交渉で得た思い】
昨年の確定交渉では、新

たな手当として地域手当が全職員に支給されたことと、何年か前に熱中症対策で、これまで要求していた空調服の貸与を勝ち取ったことです。人勧の課題のみならず、独自課題で勝ち取った事が印象に残っています。
【観光スポット】
秋のおすすすめは「紅葉谷」。龍野公園内にあり、木漏れ日も届かないほどカエデが生い茂り、神秘的な



議長の団結ガンバロウ

霧囲気が漂う。穴場の紅葉スポットとして、ゆつくりと紅葉を楽しむことができます。見ごろは11月末以降。
【驚きのメロンパン】
揖保川総合支所近く、揖保川沿いのアクアホールにある喫茶「f#(エフシャープ)」では、驚くほどの特大メロンパンが味わえる。大きさは通常の4〜5倍とも言われ、人の顔より大きいほど。実物を前にすれば、その迫力に思わず驚かされる。



2026年度の新役員体制を確立

県本部衛生医療評議会は8月3日、ひょうご共済会館で第10回定期総会を開催し、12単組から36人が参加した。
主催者を代表し山根正也議長があいさつした後、山下忠之県本部委員長、平山春樹本部衛生医療評議会事務局より来賓あいさつを受けた。
総会では2025年度経過報告・2026年度活動方針・2026年度役員体制を県本部衛生医療評議会澤田事務局長より提案し、全体の拍手で採択された。総会後、自治労東大阪

市労働組合の前田真さんが「災害時におけるトイレ対策」誰でも使いやすいトイレ環境づくり」と題し講演を行った。前田さんは、災害時の避難所ではトイレが最も重要な課題であり、環境の悪さから体調を崩し、深刻な健康被害につながった事例を紹介。また、過去には備蓄品に災害用トイレが無かったことや、トイレの平均的な使用頻度は1人1日7回とされ、必要な備蓄数は「人数×回数×日数分」で計算すると説明した。参加者は多くの課題があることを理解するとともに、実際に携帯トイレを使用する実技体験も行った。最後に阪神淡路ブロックからは、伊丹病院と近畿中央病院との統合計画が大幅

公共サービスの提供現場では、人員不足など多くの課題を抱えつつ、業務を担っている。安易な民間委託の導入により課題が生じた場合は「再公営化」に向けた取り組みを現場から実践していくことが重要。熱中症対策が義務付けられたが、現業職場はリスクが高い。当局にしっかりと認識させ、改善へ取り組み」とあいさつを行った。その後、活動経過報告、活動方針、県市町振興課・県教育委員会申入書の提起を行い、質疑

対応の後、全体で承認。次に吉村秀則自治労現業評議会局長より「現業公企統一闘争の取り組み」についての講演を受け、今後の取り組みを確認した。その後、各ブロックから、たたかいの報告を行い、最後に平瀬議長による団結ガンバロウで総会を終了した。
2日目は、清掃部会・学校部会・一般現業部会がそれぞれ集会を行い全日程を終了した。

衛生医療評議会

誰でも使いやすい環境づくりへ課題を共有

災害時のトイレ対策を学ぶ

崩し、深刻な健康被害につながった事例を紹介。また、過去には備蓄品に災害用トイレが無かったことや、トイレの平均的な使用頻度は1人1日7回とされ、必要な備蓄数は「人数×回数×日数分」で計算すると説明した。参加者は多くの課題があることを理解するとともに、実際に携帯トイレを使用する実技体験も行った。最後に阪神淡路ブロックからは、伊丹病院と近畿中央病院との統合計画が大幅

にずれ込んでいる状況や、三田での病院の統合再編の現状について、また、播磨ブロックからは、高砂市民病院の経営形態変更について報告を受け、情報共有を行った。
なお、2026年度新三役体制については、次のとおり。議長・山根正也(伊丹病院労組)、副議長・飯田雅子(神戸市職労)、前川和彦(たつの市労連)、事務局・澤田 拓実(豊岡病院労組)

現評総会 熱中症のリスク改善を訴え 10・17統一闘争に向け意思統一も

入院 日帰り入院から保障

通院 病気での連続5日以上入院の場合

退院後の通院を保障

不慮の事故での1日以上入院の場合

入院前後の通院を保障

※不慮の事故なら入院がない5日以上通院も保障します。

こくみん共済 NEWS
coop 5120F029

団体生命共済

団体定期生命共済

不明な点があれば、まずは組合にご連絡ください。
こくみん共済(全労済) 全国労働者共済生活協同組合連合会

自治労共済 推進本部
全日本自治体労働者共済生活協同組合

「こくみん共済 coop」は営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地(先)の共済生協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。

※契約にあたってはパンフレットをご覧ください。

うれしい医療保障
自治労共済生協組合員だから利用できる共済です